

目が不自由な方は、
まわりの状況がよくわかりません。

うれしいキモチ

その人の「目」になるキモチが大切です。



**道をたずねられたり、誘導するときには、
具体的な言葉で状況を説明するようにします。**

誘導を頼まれたときには、どのようにしたら良いかをまずたずねましょう。
一般的には腕をつかんでもらい、半歩先を歩くようにします。
誘導の際には、具体的な言葉で状況を説明し、不安感をなくしてあげましょう。



目が不自由な方は、
どこに何があるかよくわかりません。

わかりやすく、具体的な説明が喜ばれます。



**物の位置を示すときには、
時計の文字盤に見立てる方法もあります。**

目が不自由な人が座った位置を時計の文字盤の6時の位置とします。
例えば、右を3時、左を9時として、テーブルの上の料理の位置などを説明することができます。



耳が不自由な方は、話し言葉だけによる
コミュニケーションが苦手です。

うれしいキモチ

いろいろな方法で「会話」してください。



**「手話」がわからない場合でも、
身振り手振りで会話をすることができます。**

耳が不自由な方との「会話方法」には、「手話」や「口話（口の動きを読む会話）」、「筆談」や身振り手振りなどが考えられます。
「手話」がわからない場合でも、お互いにコミュニケーションしようというキモチが、「うれしいキモチ」です。



耳が不自由な方にとって、
目から入る情報が特に重要です。

うれしいキモチ

「文字」や「絵」でキモチが通じます。



身振り手振りでの会話が難しいときには、
「筆談」を試みてみましょう。

紙と筆記具があれば、「筆談」が効果的なコミュニケーション方法となります。できるだけ短く区切った文章で、わかりやすく伝えようというキモチが大切です。必要に応じて、説明のための文章や図を用いるとより伝えやすくなります。



車いすを使っている方には、
気づきにくい不便な点があります。

どんな手伝いが必要か、まず聞いてみて。



困っている場面を見かけたら、
望まれる方法でさりげなく対応しましょう。

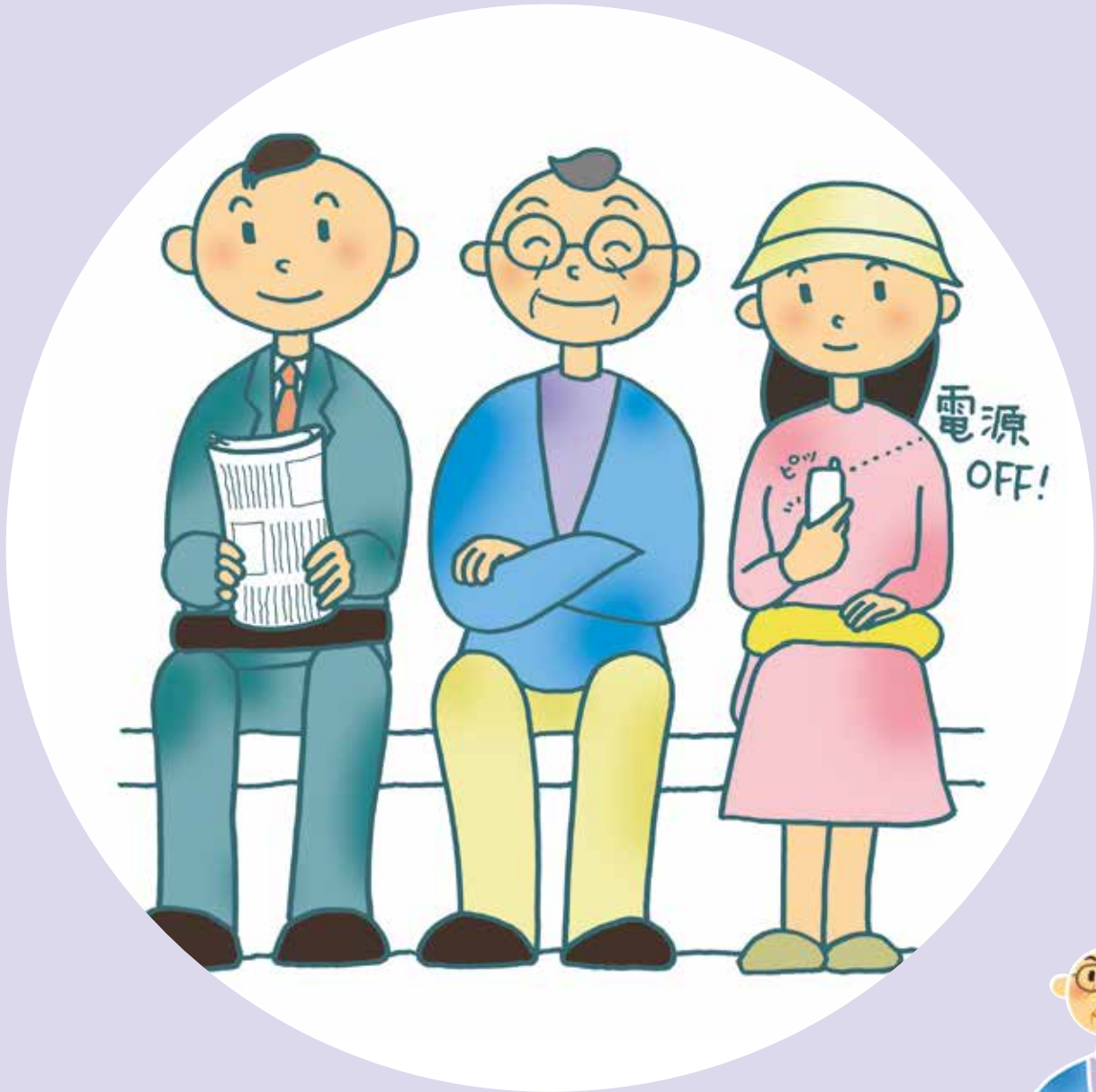
ちょっとした段差や狭い通路が通行の妨げになる他、「高い位置のモノが取りづらい」、ATMや自動販売機が「正面向きでは足が入らずに使いにくい」といった不便な点があります。さりげなく声をかけて、望まれる方法で対応することが、「うれしいキモチ」につながります。



内部障害のある方の中には
ペースメーカーを使用している方もいます。

うれしいキモチ

マナーと思いやりのキモチを大切に。



**電車やバスに乗っているときには、
目に見えない障害のことも思い出して。**

外見からはわかりにくい障害がある方も安心・快適に電車やバスを利用できるように、決められたルールやマナーがあります。これを守ることはもちろんのこと、いつも思いやりとゆずりあいのキモチをもって、みんなが気持ち良く利用できるようにしたいものです。



知的障害・精神障害がある方は、
人とのコミュニケーションが苦手です。

うれしいキモチ

やさしいキモチをもって、話しかけて。



何かをたずねられたときには、
ゆっくり、ていねいに対応しましょう。

知的障害・精神障害も、一見したところわかりにくい障害ですが、同じことを何度もたずねられたり、コミュニケーションがとりづらい場合があります。電車の乗り場や道順などをたずねられた場合にも、一度に説明しようとして混乱させることのないよう、ゆっくり、ていねいに話しかけてください。



高齢の方は、体力や身体機能、
順応性が低下しています。

うれしいキモチ

一声かけて、望まれることのお手伝いを。



**自動券売機の前で困っているようなときには、
やさしく一声かけましょう。**

高齢の方の中には、カタカナ語や新しい機械が苦手な方もいます。
イライラしたりせずに、一声かけて、望まれることを手伝いしましょう。
同じことを何度も繰り返したり、コミュニケーションに時間がかかるときも
ありますが、思いやりをもってお手伝いしましょう。



妊婦さんは立っていることがつらく、
バランスをとることが苦手です。

うれしいキモチ

思いやりといたわりの心で接しましょう。



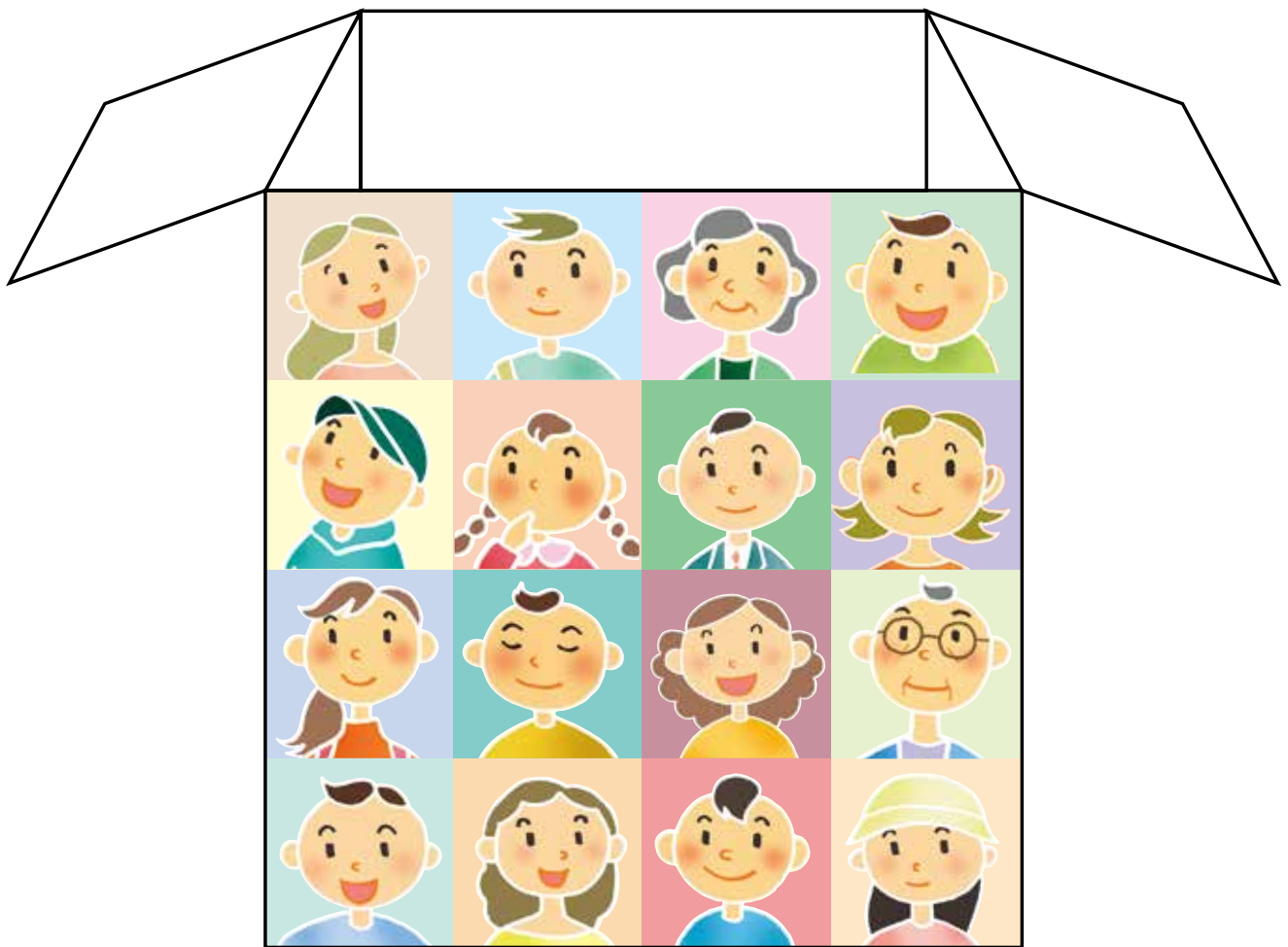
**電車やバスで一緒になったときには、
まずは、一声かけるようにしましょう。**

中には立ったままの方がいいという妊婦さんもいますが、まずは、一声かけましょう。

立っていることがつらい人に席をゆずったり、詰め合って一人でも多くの人
が座れるようにする、そんな思いやりといたわりの心をもつことが何より
大切です。



うれしいカタチ

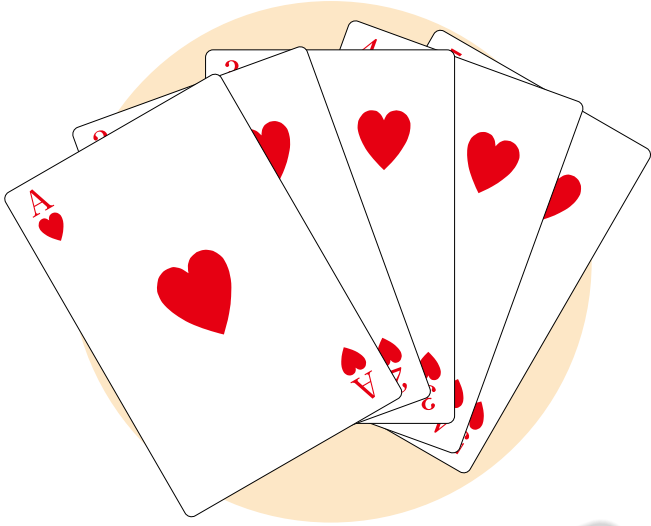


いろいろな「工夫」でみんなが使いやすくなります。

さまざまな人たちの不便さを知ったら、「知恵」を持ち寄り、
何かを「発見」できるよう、みんなで「協力」していきましょう。
すると、みんなが使いやすい「共用品」や「共用サービス」が生まれ、
共生社会がつけられます。

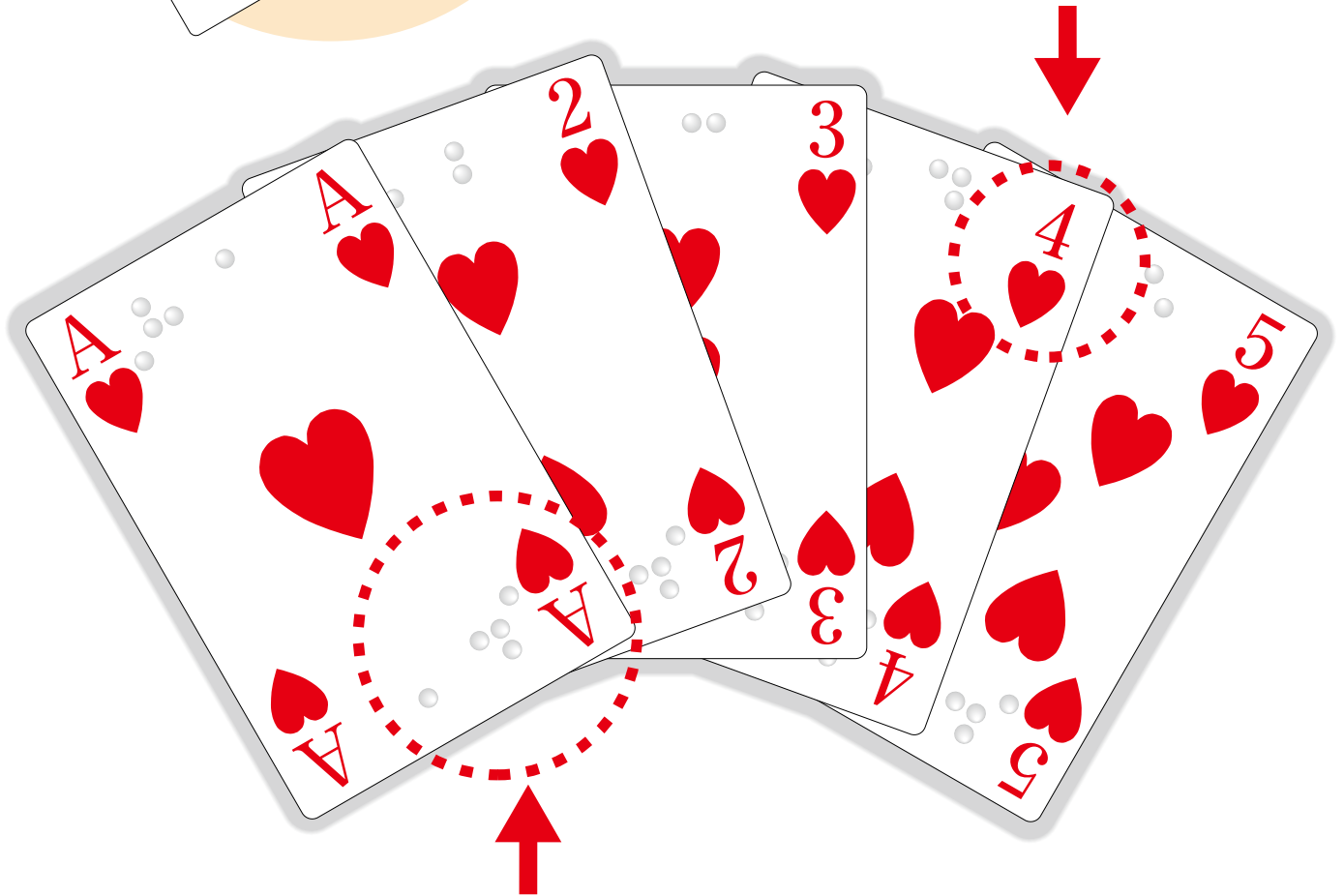
うれしいカタチ

通常のトランプにこんな工夫をすると・・・



四隅にマークと数字

左利きの人々が、トランプを重ねたときでも、数字やマークが隠れない、見やすいトランプになります。



点字と大きな文字

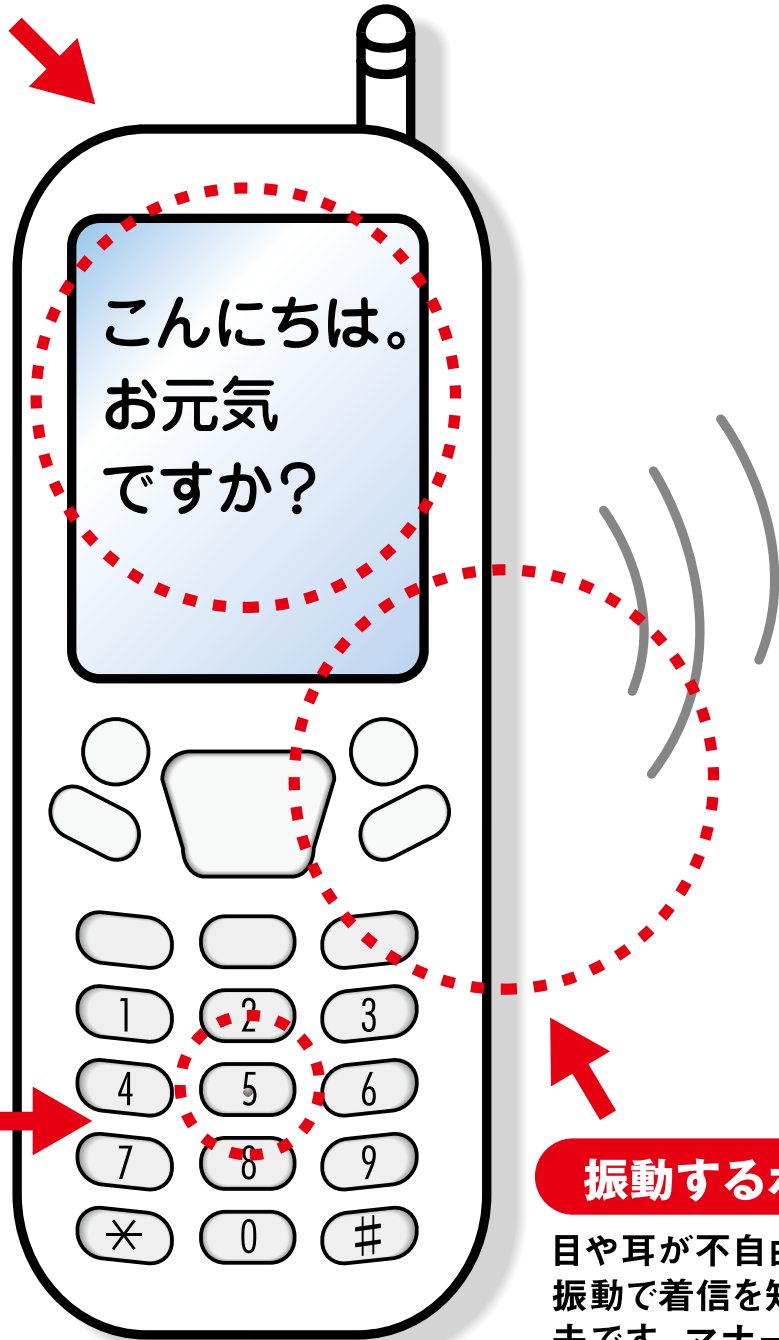
目の不自由な人も一緒に遊べるトランプになります。

うれしいカタチ

携帯電話にはこんな工夫があります。

大きなディスプレイ

お年寄りや視力の弱い人でも文字が見やすい工夫です。



5番の凸

目が不自由な人に、5番の押しボタンの位置を知らせる工夫です。

振動するボディ

目や耳が不自由な人に、振動で着信を知らせる工夫です。マナーモードの時にも便利です。

うれしいカタチ

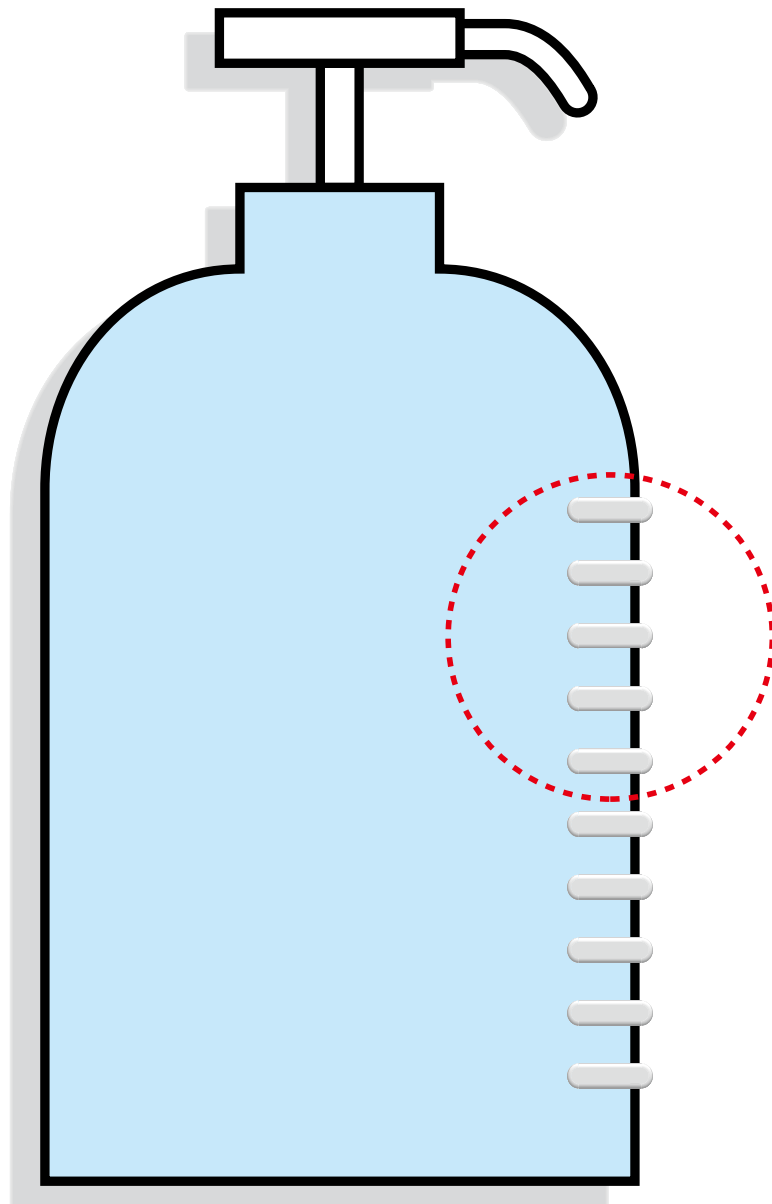
シャンプーのボトルに、こんな工夫をすると…



色の違いだけで区別していた
シャンプーとリンス

シャンプーのギザギザマーク

目の不自由な人や、洗髪中で目をつむって見えない時でも、触ることでシャンプーとリンスの違いがわかります。



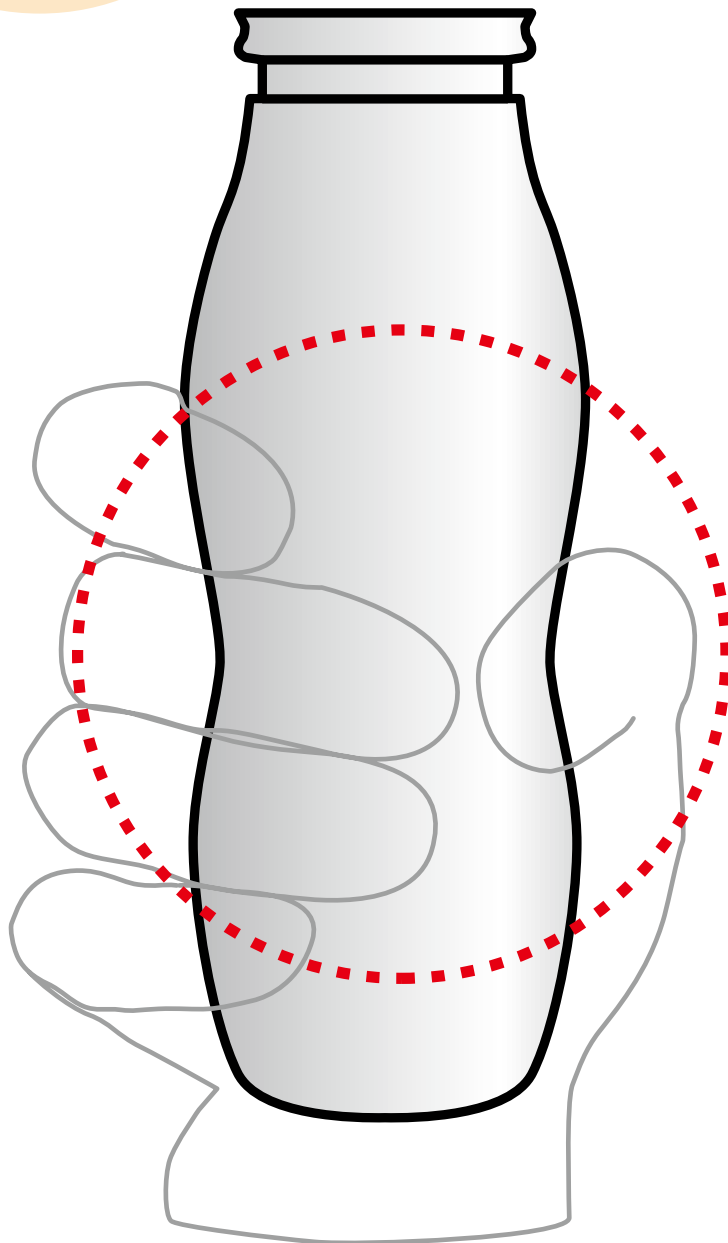
うれしいカタチ

通常の牛乳ビンに、こんな工夫をすると…



牛乳ビンのくびれ

手の小さな子供や力の弱くなったお年寄りでも握りやすい工夫です。



うれしいカタチ

切り欠きという工夫があります。

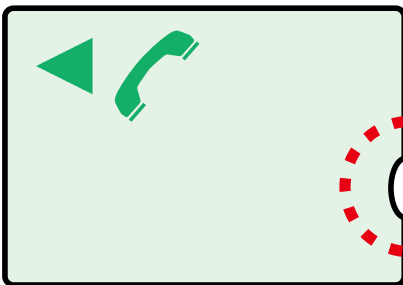


牛乳の切り欠き

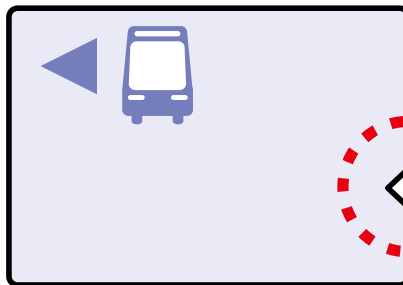
他のパック飲料
(ジュース・お茶等)と
区別します。

プリペイドカードの切り欠き

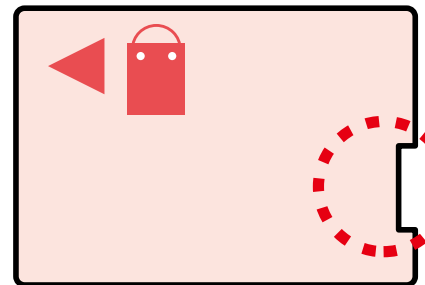
カードの種類によって形態を変えることで、手で触れて、識別できます。



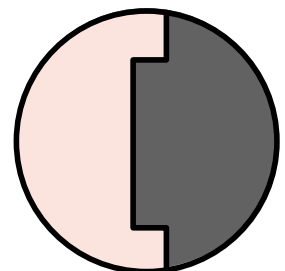
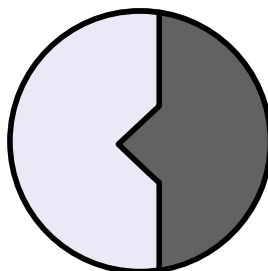
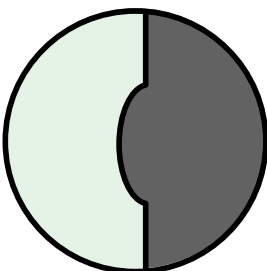
テレホンカード



乗り物カード



買い物サービスカード



うれしいカタチ

こんな工夫があるバスもあります。



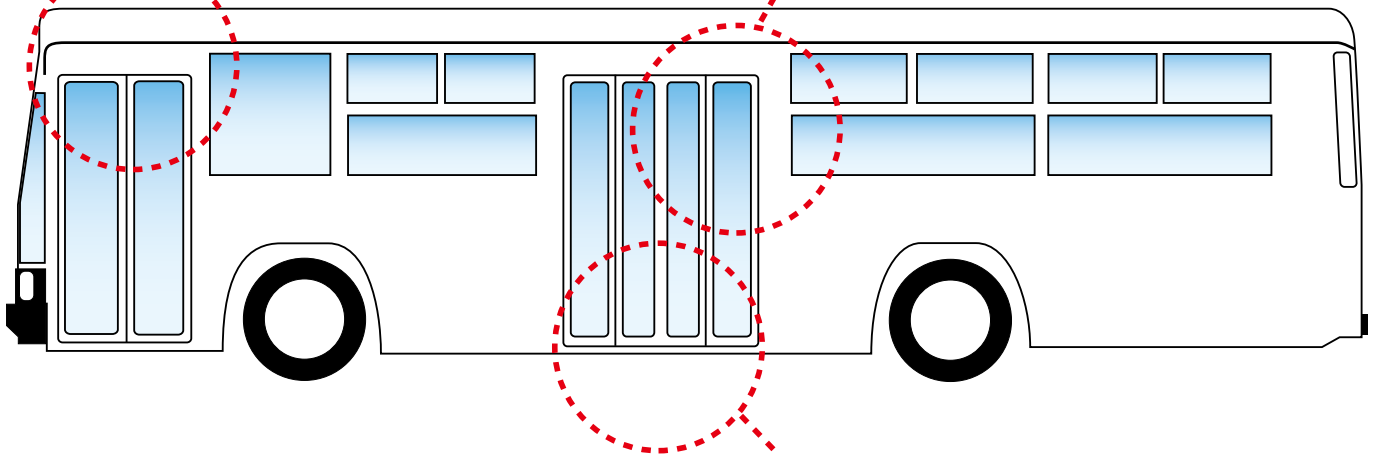
可変式情報表示装置

耳が不自由な人も目で見えて情報を理解できます。



車いす固定スペース

座席が収納されて、車いすを固定するためのスペースができます。



ノンステップバス

車いすの人が、楽に乗り降りできる工夫です。



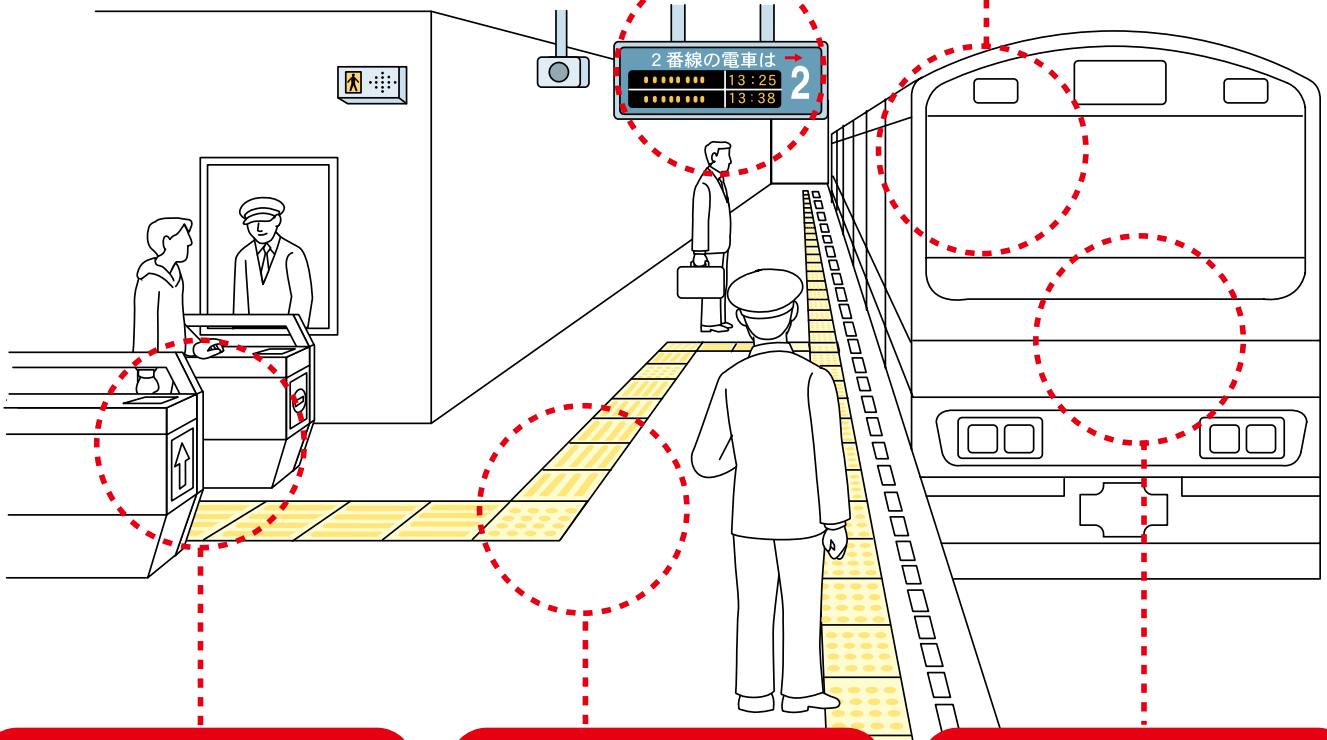
うれしいカタチ

駅や電車にもこんな工夫があります。



可変式情報表示装置

耳の不自由な人や、日本語が分からない外国の方にも便利な工夫です。



拡幅改札口



車いすを使っている人や、大きな荷物を持った人も楽に通れる工夫です。

誘導ブロック／警告ブロック



目の不自由な人が進んだり、止まったりする情報がわかる工夫です。

車いすスペース



車いすを使っている人の安全のために、車いすを固定できるようになっています。

みんなの力が
共生社会を
育てています。



みんなが暮らしやすい まちをつくるために

この冊子は、内閣府が公益財団法人共用品推進機構の制作協力・監修のもと発行した「うれしいキモチ うれしいカタチ」を再構成したものです。



沖縄県福祉保健部障害保健福祉課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL. 098-866-2190 FAX. 098-866-6916
E-mail:aa029017@pref.okinawa.lg.jp

2014年3月